



<a href="#">総合案内</a>	<a href="#">学部・大学院</a>	<a href="#">附属施設</a>	<a href="#">特色</a>
<a href="#">受験生の皆様へ</a>	<a href="#">イベント情報</a>	<a href="#">在学生・教職員の皆様へ</a>	<a href="#">農学部同窓会</a>



[農学部長メッセージ](#)

[愛媛大学農学部とは](#)

[農学部紹介ビデオ](#)

[オープンキャンパス](#)

[農学部就職情報サイト](#)

[教員一覧](#)

[公開講座\(全学イベントカレンダーへ\)](#)

[教員公募](#)

[農学部紀要](#)

[SUIJI-SLP](#)

[愛媛大学「現代GP」](#)

[愛媛大学「食育」実践プログラム](#)

[農学部内専用HP](#)

[リンク集](#)



イベント情報 2015年1月26日

### 情熱TC成果発表会を開催します【2月5日(木)】

平成26年度情熱TC(情熱ある学生チャレンジ支援プログラム)の成果発表会を次のとおり開催いたします。

来年度の応募を検討している方、チャレンジの内容に興味のある方等、ぜひ発表を聞きに来てください！

#### 【日時】

平成27年2月5日(木) 16:20～

農学部講義棟23番講義室

#### 【内容】

採択者による成果発表及び質疑応答

#### 【発表者】

○下村 哲朗

テーマ:「台湾の台中地域での茶の生産と文化の調査」

[「台湾の台中地域での茶の生産と文化の調査」ポスター](#)

○THE☆農民

テーマ:「地元の農家・企業と農作業&園児と農業交流」

[「地元の農家・企業と農作業&園児と農業交流」ポスター](#)

※情熱TCとは・・・

意欲的かつチャレンジ精神溢れるアイデアを募集し、採択されたプログラムに大学が資金援助などの様々なサポートを行うことで、情熱を持ち、なにかに打ち込む学生を支援する制度です。

[情熱TC成果発表会案内.pdf](#)

# 情熱ある学生チャレンジ(情熱TC) 支援プログラム成果発表会

農学部学務チーム

## 情熱TCとは・・・

意欲的かつチャレンジ精神溢れるアイデアを募集し、採択されたプログラムに大学が資金援助などの様々なサポートを行うことで、情熱を持ち、なにかに打ち込む学生を支援する制度です。

### 【日時】

平成27年2月5日(木)16:20～  
農学部講義棟23番講義室

### 【内容】

採択者による成果発表及び質疑応答

### 【発表者】

○下村 哲朗

テーマ:「台湾の台中地域での茶の生産と  
文化の調査」

○THE☆農民

テーマ:「地元の農家・企業と農作業&  
園児と農業交流」

**友達、先輩・後輩の発表を是非聞きに来てください！**

## 台湾の台中地域での茶の生産と文化の調査 代表者名 下村哲朗 生物生産システム学専門教育コース4回生(分子生物資源学研究室)

### ○活動の背景

チャ(*Camellia sinensis*)は大きく分けて中国種(var. *sinensis*)とアッサム種(var. *assamica*)の2種類しかないが、発酵の有無や手法、蒸すか釜炒りするかといった工程の違いによって膨大な種類の茶ができ非常に興味深い。中国起源の茶とその文化が台湾へ伝播する歴史の過程で、台湾独自の改良を重ね東方美人など他にはない洗練された茶を生み出し、大きな関心を持った。

### ○活動の目的

文献と現地調査を通して、台湾独自の茶生産と文化がどのように形成されているかを調べ、他学生と共有することに挑戦！



### ○事前調査

市販されている台湾茶を購入し参加者と試飲を行い疑問や感想などを伺い、台湾茶はどのような料理や菓子と合いそうか、またそこで生じた疑問などをまとめ、現地での調査の題材として使用した。

### ○台中へ現地調査

岡 三徳先生(比較農学研究室 教授)と3泊4日の日程で茶の生産と文化を調べに台湾へ渡航！  
三つの茶園(標高約300m, 800m, 1500m)と茶業試験場を訪問しました！  
なぜ台中地域の茶が有名？ 高山茶はなぜ美味しいのか？実は台湾では〇茶が生産されており、〇茶の発展の裏には日本人との交流があった！…情熱TC成果報告会で発表します！



### ○多国間の茶文化についてシンポジウムを開催！

インド、メキシコ、オーストラリア人を交えて英語で議論しました！台湾の美味しい茶を紹介し、若い世代はどのように茶を飲み、日本の茶文化に接して驚いたことなどを共有し合いました。彼らがどのように茶に親しみ、日本の茶についてどう思っているかなど、報告会で発表します！



**※台湾茶を味わってみたい...そんな学生に朗報！**

**2月5日(木)「台湾茶で味わう異文化」開催！**

**農学部講義棟22講義室 14:00~15:00**

**台湾茶を味わってみたい人、参加お待ちしております！**

(お茶うけにお菓子や台湾の面白い食べ物も少し準備しています)

海外渡航経験のある人、他国の茶文化と比較してどうかご感想お聞かせください。  
海外渡航(留学)を考えている人や英語の勉強の仕方で悩んでいる方、少し力になれるかもしれません。  
(中国武漢大学に10か月、カナダの語学学校に2か月等の留学経験あり。HSK(中国政府公認中検)6級, TOEIC870, IELTS6.5)

※飛び入り参加も大歓迎ですが、人数把握をしたいので下記メールアドレスに件名「台湾茶会参加希望」で回生と氏名を記載したメールをいただくと大変助かります。E-mail: chantetsu0928@gmail.com

## 1. はじめに

THE☆農民は有機栽培で野菜作りをしているサークルです。活動は主に、農学部東野試験場の一部を借りて行っています。近年では、農学部生協アグリ前に出張畑も作って日々熱心に活動しています。また、5月の農祭や11月の学生祭では、自分たちで作った野菜を用いて出店を行っております。

そして、今回の情熱 TC では、今年度初の「**地元の農家・企業と農作業**」と前年に引き続き、「**園児との農業交流**」の二つの活動を行いました。地元の農家・企業と農作業では、収穫・手入れ作業と梱包作業を行いました。また、休憩時間にはお話をし交流を深めました。

今回の活動を通して、

**「全員が学び、地域や周囲の人に感謝する」**という大きな目的のもと、

地元の農家・企業と農作業では、

①**プロの農業技術の習得を目指す**

②**学生が主体となって地域の方々と積極的に関わり合いを持つ**

園児との農業交流では、

①**園児に対して農業交流教育を試みる**

の目標を掲げ、その達成に向かってこの1年、取り組みを行いました。

## 2. 地元の農家・企業と農作業

・井上さん(伊予市伊予中山町の地元農家さん)

4/20,6/28,7/12,10/11,10/26,11/23,1/24 (訪問回数 7回)

### 1. 収穫・手入れ作業(屋外)



### 2. 梱包作業(屋内)



・無茶々園(松山市北条の農業法人さん)

7/6,10/26 (訪問回数 2回)

### 7月 ニンジンの収穫



### 10月 タマネギの定植



## 2. 1 土壌分析の結果

訪問を続けているうちに、なぜこんなにも農民と地元の農家で収穫量が異なっているのかに関して疑問が出てきた。そこで、土壌肥料学研究室のご協力のもと、10月末より土壌分析を農民・井上さん・無茶々園の3圃場を比較して実験を行った。

その結果、以下の4つのことが明らかになった。

- ① **農民の土壌は水分を多く含みにくい**
- ② **近年開墾した土地には、pHやECを高めるため、無機塩類(ex.苦土石灰)を供給する**
- ③ **腐食を定期的に投入する**
- ④ **窒素の含有率が大きいため、作物に合わせてリンやカリを多くするといった施肥改善が必要である。**



## 2. 2 地元の農家・企業と農作業をしての成果

・プロの農業を体験することができた

1年間を通じて、愛媛県の農家がどんな施肥方法や取り組みを行っていることを学ぶことができた。また、実際に生産現場に立てることは日常生活を行っている中ではまずないため、責任を持って取り組めたと同時に、プロレベルの品質を体感することができた。

また、実際に作業後に会話を行うことで、農業の大変さや楽しさを実感することができた。

・地域特有の野菜・果物に触れることができた

伊予中山町ではクリが、無茶々園ではキウイフルーツをいただくことができた。これらは愛媛県やその地方の特産品である。したがって、愛媛県の特産品に関して体験を通じて学ぶことができたと考えている。

## 3. 園児との農業交流

植えた品種 **鳴門金時 紅あずま 安納芋 パープルスウィートロード**

**サツマイモ植えつけ 6/7 サツマイモ収穫 10/25**

園児との農業交流は東野試験場にある農民の畑で行いました。約20人の園児達とサツマイモを植えました。園児一人に大学生が一人以上付き、手をつないで一緒に行動をし、安全に取り組めるよう努めました。また、熱中症対策として水分の準備、帽子、軍手の着用を徹底させて行いました。

10月にした収穫では4種のサツマイモが沢山取れ、園児達も自分で植えたサツマイモが大きく育っていたことに喜んでいただきました。その後、サツマイモは園児達にも持って帰って食べてもらいました。また、残りのサツマイモは学生祭で豚汁として使用し、販売と同時に活動の宣伝も行いました。



## 4. 今後の活動

従来の畑での野菜作りを継承しつつも、施肥方法や栽培方法を変えるといった新しいことにチャレンジし続けていきます。

園児との農業交流は今後も続けていきたいと考えています。ただ、サツマイモの植え付けや収穫だけでなく、ほかの野菜の植え付けや、出来た野菜を使って一緒に食事をするなどの新たな取り組みも行っていきたいと思っています。

また、5年たった今、農民の圃場は拡大しているため、生産して余った野菜は食堂や地元へ提供といったように、少しでも地域社会に貢献できるよう、日々活動に取り組むと考えております。